

【様式1】

<p align="center">市議会における政策提案とその対策等 〔議案質疑・一般質問・委員会〕</p>					
担当課	農山漁村整備課	議員名	力武 勝範 議員	提案月	R2.12
<p>〔提案事項〕</p> <p>令和3年3月31日で木工芸センター施設を閉館することだが、木工芸センターで行ってきた木育活動の継続方法は何かないか。</p>					
<p>〔現況等〕</p> <p>木工芸センターは平成元年7月に開館。 開館から31年が経過し、標準耐用年数である24年を超えている。 利用者が7、8月に集中していることから、一年を通して開館し維持管理を行うことは、費用面においても負担が大きいことから、施設を閉館することとした。</p> <p>当該施設については、夏休み期間の水曜日以外、夏休み以外は年末年始を除く土、日、祝日に開館し、平日は閉館としている。 このような中で、直営による施設運営の継続も検討したが、人員の配置や費用等の問題があり、直営でも開館できないと判断した。</p>					
<p>〔政策提案を受けての対策〕</p> <p>本年はコロナ関係で開催できなかったが、令和元年度では、伊万里秋祭りの際に「木づかいプロジェクト」の一環として、伊万里駅前広場において、木工教室を開催した。 木工芸センターで行ってきた木育活動については、佐賀県で開催されている「よかウッドフェスタ」や他の先進事例などを参考にしながら、継続を前提に、現在の指定管理者である伊万里西松浦森林組合を交え検討する。</p>					
<p>〔対応状況・令和4年12月末現在 完了〕</p> <p>令和4年6月議会で森林環境譲与税を財源とした小学生対象の木育活動に関する予算が可決され、その後、今年度実施を計画している小学校の教諭と活動内容に関する打合せを行い、令和4年12月5日に第1回目の木育活動を実施した。今後も、令和5年1～2月に市内2小学校での木育活動を行う予定である。</p>					